



# 学校の窓から

令和3年1月12日号

## 第3学期 波乱の幕開け

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業により、本日が第3学期始業式となりました。保護者の皆様には、様々な面でご配慮いただいたことと思います。ありがとうございました。今後の状況変化に伴い、今までにない対応が求められることもあるかと思いますが、学校としては子どもたちの安全と健やかな成長を最優先に考えて対応していきたいと思っておりますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。子どもたちには、制約のある学校生活の中でも、しっかりと前を見て着実に歩みを進めることができるように、第3学期始業式で次のような話をしました。

### <第3学期始業式の校長の話>

皆さん、あけましておめでとうございます。今年は「丑年」です。6年生の中で4～12月に生まれた人は丑年生まれですね。じつは、私も丑年生まれです。私は丑年生まれを気に入っています。その理由は干支の始まりの話にあるので紹介します。

#### <十二支の始まりの話>

昔々、ある年の暮れのこと。神様が動物たちを集めて言いました。「1月1日の朝、私のところに新年のあいさつに来なさい。早く来た12匹の動物を、1年交代でその年の大将にしてあげよう」動物たちは、我こそが1番になるぞとはりきっておりました。

1月1日、牛は「私は足が遅いから今のうちから歩いていこう」と、誰よりも早く夜明け前に出発しました。これを見ていたネズミが、牛の背中に飛び乗りました。そんなこととは知らない牛が神様の家に行ってみると、まだ門が閉まっていたので開くのを待っていました。やがて朝がきて門が開いたとたん、牛の背中からネズミが飛び降りました。こうしてネズミが1番となり、牛は2番となりました。それからトラ、ウサギ、タツヘビ、ウマ、ヒツジ、サル、トリ、イヌ、イノシシの順で到着しました。こうして十二支が人々の間に広がっていきました。



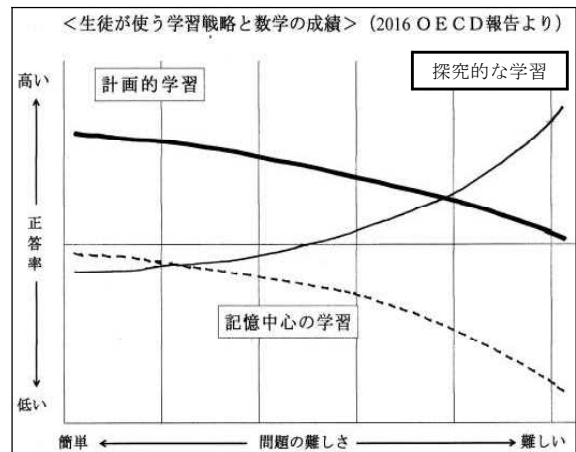
#### <牛の性格は？>

このお話の牛は、自分は足が遅いことを知っていて、他の動物よりも早く出発し、一步一步進んでいきました。神様の家の門が閉まっても、じっと待っていました。ネズミが1番になっても、腹を立てることもなかったようです。このことから、牛は計画的で努力家、根気強くおらかな性格のようですね。

#### <どのように努力すると良いのか>

「努力は成功の源」と言われるように、努力することが大切だということは、皆さんも分かっていると思います。これからは、どのように努力すると良いのかについて話します。

まず、このグラフを見てください。横軸に問題の難しさ、縦軸に正答率、つまりどれだけ正解できるかを表しています。グラフには3本の曲線がありますね。点線は「記憶中心の学習」、太い線は「計画的学習」、普通の線は「探究的な学習」を表しています。皆さん、ずばりどの学習方法を使うと良いと思いますか。正答率が高いのは「計画的学習」ですね。そして難しい問題を解決するには「探究的な学習」ですね。



### <学習習慣が身に付く「計画的学習」>

「計画的学習」とは、さっきの牛のように、自分のことを理解して目標を決め、それを実現するための計画を立て、進み具合を振り返りながら学習を進める学習の仕方です。この学習の仕方は、今までも担任の先生方が指導していると思います。1・2年生は、担任の先生がこのことを考えていますから、先生の言うことをしっかり聞いて学習に取り組んでください。また、これが役に立ちます。すでに渡してある「家庭学習の手引き」です。3年生以上の皆さんは、これを家で学習する所に貼って、自分で考えて学習を進めましょう。Aの線が表している「記憶中心の学習」とはドリル等で繰り返す学習です。基本的な学習内容ができるようにするために必要な時があるので、根気強く取り組みましょう。

### <これからの時代に必要な「探究的な学習」>

難しい問題を解決するためには「探究的な学習」が効果的です。この学習の仕方は、まずは自分の課題をもつこと、そして解決に必要な情報を集めたり選んだりすること、そうやって得た情報を手がかりに自分の考えをもち、友達と対話しながら考えを深めていくことが大事です。皆さんもこれまで生活科や総合的な学習の時間に取り組んできたと思います。今、大きな問題になっている新型コロナウイルスを克服するためにも、この方法が使われています。感染防止に効果のあるワクチンを開発するには10年程度かかるところを、今までにない方法で研究して1年程度で開発することができました。いずれ皆さんも使うことができるようになるでしょう。

### <学習を進めるには「気持ち」が大切>

「計画的学習」は体育の学習でも生かされます。3学期に取り組む縄跳びでも、自分の実力を理解して目標を決め、それを実現するための計画を立て、進み具合を振り返りながら練習を進める方法です。その際は、縄跳びが上手な友達の跳び方を参考にすることが効果的です。

これらの学習を進める上で大事なものは、皆さんの気持ちです。自分の目標や意欲をもって粘り強く取り組み、自分の考えを友達と話し合いながら共に高まっていくことが、これからの時代を生きていく力を付けていくことになるのです。今日、各学級で新年のめあてを書く機会があると思います。その際に今お話ししたことを生かしてみてもはどうでしょうか。

### <誰にでもある不安や悩み、コップに例えてみると>

目標達成のために努力を続けることは大事ですが、人は誰でも不安や困りごと、悩みをもつことがあります。そのことをコップに例えてみましょう。不安や困りごと、悩みを持つと、コップに水が溜まるように（実演）皆さんの心に溜まっていきます。それが溜まり続けると、ついに溢れ出しますね。実際に、朝起きられなかったり泣き出してしまったりする人がいます。また、学校に来るのが辛くなる人もいます。

溢れ出す前にできることがあります。コップに例えると、溜まった水を減らすことです。不安や悩みを家族や友達、先生に話すと、気持ちがすっきりしたり解決策が見つかったりします。好きなことをしたりほっとする時間を過ごしたりすることも効果があります。もう一つ、あふれ出す前に「SOS」を出す、つまり

「助けて」と言うことです。担任の先生に話せば、きっと力になってくれます。担任の先生に話しずらかったら、話しやすい先生やスクールカウンセラーに相談してください。森合小学校の先生は皆さんの味方です。きっと力になってくれます。自分の心をコップに例えて時々振り返り、必要な時は周りの人の力を借りましょう。

### <こういふときこそ森合小の合言葉>

コロナのことが心配ですが、みんなで守るべきことを守り、厳しい条件の中でもできる方法を工夫すれば、楽しく3学期を過ごすことができると思います。こういう時こそ森合小の合言葉です。大きい声で言いたいところですがコロナなので、みんなで心の中で言ってみましょう。

「自分でチャレンジ、みんなとチャレンジ、最後まで」これで校長先生のお話を終わります。



## 「認知能力」と「非認知能力」は絡み合うように伸びていく

知識や技能、思考力を「認知能力」と言うのに対して、目標、意欲、興味・関心、粘り強さ、協調性を「非認知能力」と言います。「計画的学習」「探究的な学習」の基盤となるこの二つの能力は、絡み合うように伸びていきます。3学期に取り組むまとめの学習や縄跳びでは、認知能力と共に非認知能力も育てていきたいと考えています。そのためには、保護者・ご家族の皆様からの励ましが子どもたちの力になります。学校で取り組んでいることを家庭で話題にして、声をかけてください。